

令和元年 9 月 26 日

報道機関 各位

東北大学  
東北大学萩友会

**学生歌「青葉もゆるこのみちのく」、  
校友歌「緑の丘」のカラオケ配信開始！**  
— オリジナル映像でのカラオケ化に”あの”OBが全面協力—

【発表のポイント】

- 東北大学学生歌「青葉もゆるこのみちのく」および同校友歌「緑の丘」の2曲が令和元年 9 月 28 日からカラオケ配信される。
- カラオケ化にあたり、本学経済学部出身で「カラオケまねきねこ」等を運営する株式会社コシダカホールディングスの代表取締役社長腰高博氏から全面協力をうけた。
- 「青葉もゆるこのみちのく」では懐かしの映像も含むキャンパスや学生の様子などの映像が盛り込まれており、東北大学や仙台にゆかりのある幅広い年代の方に楽しんでいただける内容となっている。



学生歌「青葉もゆるこのみちのく」  
カラオケ冒頭画像

【概要】

東北大学の学生歌「青葉もゆるこのみちのく」（作詞：野田秀、作曲：阿座上竹四、昭和 28 年制定）と、校友歌「緑の丘」（作詞・作曲：小田和正、平成 25 年制定）が、カラオケ楽曲として配信されることになりました。

カラオケ化にあたっては、本学経済学部を昭和 61 年に卒業し、「カラオケまねきねこ」等を運営する株式会社コシダカホールディングス代表取締役社長の腰高博氏の全面協力を受けました。

配信は令和元年 9 月 28 日から開始です。まずは JOYSOUND 機種での“うたスキミュージックポスト”から選曲が可能となります。順次、通常配信および他機種への配信へと拡大致します。また、配信を記念し、同日に開催される「東北大学 112 周年ホームカミングデー」において、来場者に向けて披露する予定となっています。

## 【詳細説明】

### ●60年以上歌い継がれてきた学生による学生のための学生歌

東北大学学生歌「青葉もゆるこのみちのく」は、学生から作詞、作曲の募集を行い、更に学生らの審査を経て昭和 28 年に制定されました。作詞は当時法学部に在学していた野田秀氏、作曲は同じく工学部に在学し、東北大学名誉教授でもある阿座上竹四氏によるものです。学生歌は入学式や卒業式で歌われるほか、東北大学応援団や男声合唱団、混声合唱団などでも歌い継がれており、学生、教職員に広く愛される、いわば“校歌”のような存在です。平成 19 年の東北大学創立百周年の際には、他にも複数存在していた学生歌の中からこの「青葉もゆるこのみちのく」が正式に“学生歌”として制定されました。

### ●震災後の学生たちを元気付けたい。総長から小田和正氏への手紙

平成 25 年に東北大学校友歌として制定された「緑の丘」は、東日本大震災の翌年、なかなか元気を取り戻せずにいる学生たちを元気づけたいと、当時の里見進総長が自ら本学 OB である小田和正氏へ手紙を書いたことがきっかけとなり、制作されました。小田氏の脳裏に刻み込まれた美しく懐かしいキャンパスの様子を歌い上げたこの曲は、学生、教職員のみならず東北大学を愛するすべての“校友”のための歌として大切に歌い継がれようとしています。



製作された「緑の丘」の CD

### ●カラオケ屋の俺がやらなくて、誰がやる。

カラオケ化にあたっては、本学経済学部出身で「カラオケまねきねこ」等を運営する株式会社コンダカホールディングス代表取締役社長の腰高博氏に全面協力をいただきました。きっかけは、腰高氏が大学の同窓会でカラオケに行った際、「青葉もゆるこのみちのく」をみんなで歌おうとしたところ、そもそも楽曲登録がないことに気づき、腰高氏は「カラオケ屋の自分がやらなくてはい！」とすぐに本学へ連絡を頂いたという次第です。

カラオケ制作においては、本学の各キャンパスのドローン映像や過去・現在の学生の様子などを映したオリジナル映像を製作しました。音源は昨年亡くなられた本学 OB の岡崎光治氏の編曲によるものです。広瀬川河畔など仙台市内の美しい映像のほか、今はなき“雨宮キャンパス”や“貧食”の名で親しまれた「川内第二食堂」の画像なども盛り込み、学生時代を仙台で過ごした卒業生たちがカラオケで“仙台に帰った”気分を味わえるようにも仕上げられています。

### ●総長から腰高氏への感謝状の贈呈

今回のカラオケ配信に先立ち、本年 8 月 28 日、東北大学の同窓会・萩友会(しゅうゆうかい)では、「東北大学に関わるすべての校友の思い出と絆を深め、愛校心を末永く醸成することに多大な貢献をした」ことを表し、同会会長である大



大野総長から腰高氏への感謝状贈呈のようす

野英男総長から、腰高氏へ感謝状の贈呈を行いました。

●あの頃の仙台に帰る日。ホームカミングデーでの披露会

今回のカラオケ配信を記念し、令和元年9月28日に東北大学百周年記念会館川内萩ホールで開催される「東北大学112周年ホームカミングデー」にて、「青葉もゆるこのみちのく」のカラオケ映像の披露を行います。

ホームカミングデーでは、卒業後、10年、20年などの節目を迎える卒業生たちが、それぞれの在学時代を振り返る「思い出ステージ」を開催しますが、その冒頭に学生歌のカラオケ披露会を行う予定です\*。

※ 通常のカラオケバージョンほか、東北大学混声合唱団バージョンも収録したオリジナルDVD等が当たる“大抽選会”も実施します。

◆東北大学112周年ホームカミングデー

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/hcd/2019/>

【本件に関するお問い合わせ(報道機関)】

東北大学総務企画部社会連携課

電話:022-217-6290

E-mail:kikin@grp.tohoku.ac.jp

(ホームカミングデーに関するお問合せ)

東北大学萩友会事務局

電話:022-217-5059

E-mail:alumni@grp.tohoku.ac.jp